

「働く」ことの喜び、苦勞を実感

普代中学校(木村利光校長、生徒97人)の2年生31人は6月27、28の両日、村内で職場体験学習「グッドジョブ」を行いました。中学生たちは漁業や農業、商業などさまざまな職種を村内11カ所体験。広報体験をした熊谷勝利君、落合勇樹君と共に、それぞれ頑張った中学生を追い追いました。

職場体験は学習「グッドジョブ」今年で2年目。木村校長は「最近若い人がすぐ職場をやめるなどの問題があり、早い時期からの職業体験が進められています。2日間

自分の未来探し

中学生の職場体験



(株)三陸水産でワカメのしん抜きを体験する普代中生



越戸商店でジュースを補充する生徒



園児の布団を運ぶ男子生徒

場をやるなどの問題があり、早い時期からの職業体験が進められています。2日間

だけですが、働くことの苦勞や喜びを体験し、自分の進路を考えるきっかけになってほしい」と職場体験の意義を話していました。

太田名部の三陸水産では新屋康太君、佐藤旭君、太田直希君、中居幹君、小田修也君が塩蔵ワカメのしん抜きや生ウニの瓶詰め作業、商品出荷の手伝いをしました。

上区の明内理容店では大上真美さんと越戸菜摘さんが明内恵子さんからシャンプーとブローの手ほどきを受けていました。2人は「思った以上に手や指の力が必要です」と話していました。

2人の体験には先生方も協力。実際にシャンプーをしてもらった齋藤ルミ子教諭は「力加減が上手。気持ちいい」と話していました。

中央区の越戸商店では古川和幸君と野田口俊一君が体験。2人は倉庫から売り出し中のジュースを運び出し、店内の棚に補充。そのほかパソ

コンでチラシ作りや売り出し商品の値段設定もしていました。

無駄話もせず仕事をこなす2人に越戸秀子さんは「2人ともとっても働き者。パソコンはわたしよりうまいかも」とお褒めの言葉をいただきました。

茂市の牛舎で暑い中牛の世話をした男子生徒。和野山のホウレンソウハウスで収穫を体験した生徒たち。普代児童館や子育て支援室で、子どもたちの世話をし、一緒に遊んだ生徒。国民宿舎「くろさき荘」で皿洗いやお風呂掃除を、まるに商店や郵便局で接客を学び、普代小、堀内小、漁協役場で、それぞれがいろいろな事業所で貴重な体験をしました。

生徒たちにとっては、たった2日間の体験学習でしたが、仕事の苦勞や喜びを実感しながら、進路決定や自分の将来を考える良いきっかけとなりました。

※上の写真は広報業務を体験した熊谷君と落合君が撮影したものです。

普代村には砂鉄が豊富にある。場所をあげれば茂市・萩牛というところになる。盛岡藩鉄山経営表(九戸地方史)によれば享保二年(一七一七)萩牛村割沢鉄山が経営され、中断があつて文化・文政時代に再び経営されている。

また、南部鉄鋳業秘録によれば、茂市鉄山は宝歴十二年(一七六二)支配人藤原嘉衛門により新山として開業明治四年(一七六七)まで操業され、中断があつて幕末に再操業している。

外に萩牛鉄山・芦渡鉄山・かげい平鉄山・黒沢鉄山・鬼ヶ沢鉄山・普代浦鍛冶場(みちのくの砂鉄いまいずこによる)などがあり、普代浦鍛冶場を除けばいずれも茂市・萩牛方面に集中的に存在していた。

普代村の砂鉄は「マサ」と呼んでいるもので萩牛・茂市に存在する量は計り知れない。明治四十四年(一九一七)に書かれた農商務省の文書の中に「花崗岩の風化した土砂を流木によって淘汰した跡は

九戸郡山根村端神の南方及び下閉伊郡普代の南西にあり、端神におけるものは明治三十年(一八九七)の交採取したものという」

茂市や萩牛方面を散策すれば山を削つてつくつた道の壁に、灰色の土を必ず目にする、これが「マサ」である。割沢御鉄山雑書では砂鉄を掘る場所を鉄口といい、「マサ」を掘っていた。||中略||

割沢御鉄山の新設は、文化十二年(一八一五)新割沢御鉄山御雑書の表誌に「わらさわ御てつ山御日拂廻、亥八月、文化十二年新割沢御鉄山御雑書、天時候井日用を記するものなり、よつて如斯の御座候」とあり、八月十六日にはじまり十二月下旬に終わっている。内容を見ると祝い品を持参して新山祝いに来たところ。鉄山も周辺も自他共に新しい鉄山がひらかれたとの認

鉄山

郷土を探る―その三

識があつたということである。

(普代村郷土史260ページ) 275ページを抜粋して掲載

割沢御鉄山は盛岡藩として、主要かつ重要な鉄山であつて、施設、出鉄量、労働者数、販路などから、有数の位置を占めていました。が、地元ではその詳細について詳しく知る人は少ないといわれています。労働者は二百四十二人。鉄山の技術は、送風・砂鉄の溶解・木炭・水力・鍛冶などで、最先端をいくものでした。しかし、森林伐採川の汚濁など生活を著しく阻害する規模で行われたので、鉄山との対立は深刻な険しい関係にあつたとされています。

現在、萩牛の割沢遺跡(鉄山跡)の発掘調査が行われています。先人が歩んだ新たな事実が確認されようとしています。

【参考文献】「割沢御鉄山雑書」(大森竹之助著)元村郷土史編集委員)

～北緯40度地球村づくりを共に担う～ やる気満々の村職員を募集!!

平成19年度の村職員採用試験を、次のとおり行います。

◆試験職種…一般事務
◆採用予定人員…1人
◆受験資格…高等学校、短期大学、大学の卒業生(平成20年3月までに卒業見込)で昭和50年4月2日から平成22年4月1日までに生まれた人。
◆受付期間…平成19年7月25日(水)から8月14日(火)までの土・日除き。受付時間は、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時30分まで。郵送で送付のものは、8月14日(火)までの消印があるもの。

◆受験手続…①申込用紙の請求=申込用紙は役場総務課で交付します。申込用紙を郵便で請求する場合は、封筒の表に「採用試験請求」と朱書きし、140円切手をはったあて先明記の返信用封筒(A4判サイズ)を同封してください。②受験の申し込み=申込用紙に必要事項を記入して、役場総務課に提出してください。申し込みの際には、申込書の所定の個所に写真を、受験票に50円切手を必ずはってください。郵便で申し込む場合は、封筒の表に「採用試験申込」と朱書きしてください。9月5日(水)を過ぎても受験票が返送されない場合は、役場総務課まで連絡してください。

◆試験の日時・場所…①1次試験=9月16日(日)午前10時開始(受付は、午前9時15分～45分)、岩手県立久慈東高校(久慈市)②2次試験=10月下旬に日時、場所を指定して行います。

◆合格発表…①1次試験=10月中旬②2次試験=11月中旬

◆給与(初任給)など…高校卒138,400円、短大卒148,000円、大学卒159,700円 そのほか諸手当を支給

◆問い合わせ先…普代村役場総務課(☎0194-35-2111、内線114)